

科目名	ソルフェージュⅢ - 1～Ⅲ - 4	授業期間	半 期
担当教員	荒尾岳児、岡島礼、藤本隆文、藤原亜美、茂木眞理子、日野原秀彦、伊左治直	科目 No.	CSL3322 CSL4323
受講対象	「ポピュラー・インストゥルメンツコース」「ソングライティングコース」を除く全専攻 3・4年	単位数	1 単位

目 標  
概 要

目標：ソルフェージュⅠ・Ⅱで習得した読譜力・理解力をさらに高め、各自にとって必要と思われる内容のソルフェージュを重点的に学ぶ。

概要：学習目的によって6種類に分けられたクラスで、それぞれ特化された内容のソルフェージュ学習を通してより実践に深く結びついたソルフェージュ能力を養う。

学習目的別クラスは以下のとおり。

- ・基礎充実のためのクラス（4限）……ソルフェージュⅠ・Ⅱの復習を中心とする。
- ・リズム、読譜、視唱クラス（4限）……さまざまな楽譜に対応するための読譜力向上を目指す。
- ・初見視奏クラス（4・5限）……グレードや楽器編成により2ないし3クラスに編成
- ・ピアノコードワークとスコアリーディング（4限）……コードネームの初歩から学習する。  
和声Ⅱを履修済みであることが望ましい。
- ・管打楽器専攻生向けクラス（5限）……管打楽器の演奏実践に直結した内容を扱う。  
（対象は全専攻）
- ・伴奏づけ・即興演奏のクラス（5限）……ピアノによる基本的な伴奏づけの後、そのコード進行に基づく即興や変奏が出来ることを目指す。
- ・ソルフェージュ大学院準備クラス（6限）……3年生秋学期と4年生春学期の大学院ソルフェージュ研究領域の受験予定者を対象とする。他のソルフェージュⅢ - 1～Ⅲ - 4クラスを同時に履修することが受講の条件となる。大学院入試レベルの聴音と視唱を中心に学習。  
（4・5限の初見視奏クラスを同時に履修することを強く推奨する。）

授 業 計 画

1	ガイダンス・進捗チェックのための試験
2	音程・和音の読譜からのアプローチ 導入
3	音程・和音の読譜からのアプローチ 発展
4	リズム・アーティキュレーションからのアプローチ 導入
5	リズム・アーティキュレーションからのアプローチ 発展
6	ダイナミクス・テンポ設定等からのアプローチ 導入
7	ダイナミクス・テンポ設定等からのアプローチ 発展
8	フレージングからのアプローチ 導入
9	フレージングからのアプローチ 発展
10	形式・楽曲構造へのアナリゼからのアプローチ 導入
11	形式・楽曲構造へのアナリゼからのアプローチ 発展
12	時代様式からのアプローチ 導入
13	時代様式からのアプローチ 発展
14	総合的アプローチ
15	理解度の確認・実技テスト

準備学習の内容	各クラスの担当教員の指示に従い、予習・復習をすること。					
履修上の注意	ソルフェージュⅠ・Ⅱの単位を取得していることを履修条件とする。3・4年次のいずれの半期にも履修できるが、同種のクラスは2回（クラスによっては1回）までとする。詳細はソルフェージュ研究室の掲示を参照のこと。					
評価方法	試験	課題(レポート含)	発表	平常点	その他	合計
	○			○	○	
	補 足	出席を重視し、授業回数の2/3以上の出席をもって期末試験の受験資格を得る。 (期末試験等のスケジュールの詳細はその都度掲示されるので注意しておくこと。)				
教材等	それぞれのクラスで適宜、必要に応じて配付する。					